

議員発議

■ 深刻な医師不足の打開策を求める意見書 (抜粋)

地方やへき地といった特定の地域や、産科・小児科等の特定の診療科における医師不足は重大な社会問題であり、これは病院で働く勤務医に過酷な労働環境をもたらし、それが更なる医師不足を招くという悪循環を拡大させているため、本市においても医師確保ができず、医療環境の整備・充実は喫緊の課題となっているため、国及び政府においては、

産婦人科存続を求める意見書(P2)及び前ページ3件の意見書に加え、このページにある2件の意見書、計6件の意見書を可決しました。

県・大学・学会・医師会等との連携のもと、抜本的な医師確保対策を講じられるよう強く要望します。

■ 「消えた年金」問題被害者への速やかな補償を求める意見書(一部掲載)

年金の元台帳とコンピュータのデータを照合し、全ての納付記録が正確に入力・管理されるよう、さらには加入者に納付履歴を送付しチェックをもらうなどの要望内容の意見書を提出しました。左記のとおりです。

「消えた年金」問題被害者への速やかな補償を求める意見書

公的年金は、国民の高齢期における生活を支える重要な制度です。ところが、年金保険料の納付記録の管理があまりにもずさんであったという実態が明らかになりました。そしてこれが原因で保険料を納めたのに年金が受け取れない、あるいは本来の受給額より少ない額しか受け取っていないという被害者の方々が大量いることも分かってきました。社会保険庁は、これまでも数々の不祥事によって、国民の信頼を裏切ってきましたが、今回の問題によって国民の年金不信は一層高まっています。

政府・与党は、「年金時効特例法案」と、コンピュータ内の5000万件の納付記録(いわゆる「宙に浮いた年金記録」)の突合という対策を打ち出しました。しかし「時効の撤廃」によって補償されるのは、「納付記録の訂正」が行われた場合に限りであり、保険料を納めたのに「記録がない」と言われているような、そもそも「記録の訂正」ができない方はこの対策の対象となりません。また、「宙に浮いた年金記録」の突合は、コンピュータ内のデータの損壊部分を修復し、コンピュータへの入力漏れを是正しなければ、被害者の補償につながりません。

よって、国及び政府においては、国民がこれまで納付した保険料に見合った年金をしっかりと受給できるように、次の事項を含む政策を実施されるよう強く要望いたします。

記

- 1 未納扱いになっている方の納付記録を復元するため、全国の社会保険事務所や市町村に散在している元台帳とコンピュータのデータを照合して、コンピュータにすべての納付記録が正確に入力・管理されるように調査・訂正すること。
- 2 すべての加入者に納付履歴を送付して緊急チェックをしてもらうとともに、本人と結びついていない納付履歴についても工夫し情報を提供して注意を呼びかけることによって、速やかに納付記録を是正・統合すること。
- 3 完全に納付記録が消失してしまった方については、国の過失を認め、加入者側の証言を最大限に尊重して補償すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成19年6月22日

岩手県奥州市議会

衆議院・参議院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣

常任委員会活動報告

産業経済

降雹による農作物被害を調査

奥州市内で6月7日に発生した降雹被害の状況を把握するため、常任委員会は9日に衣川区内のりんどう被害、そして21日には胆沢区小山地内のりんどう被害及び水沢区羽田町及び姉体町地内の野菜被害の現地視察を行いました。関係者から被害状況についてお話を伺いました。りんどうは葉が茶色に変化し、または葉に穴が開いたため出荷が厳しいとのことでした。野菜(トマト)は主枝が折れ、茎や葉に傷が付く、葉に穴が開いたので数量は四千個減になるとのことでした。

さらに、1年前降雹によるりんご被害があった江刺区稲瀬地内に、1年ぶりに現地視察を行いました。着果数は少なく、枝に亀裂があり、葉の数だけは多い状況でした。JAの担当者からの説明では、7月と9月に雹が降った年があるからまだ油断できない状況であり、雹に対する保険加入者が昨年より増加したとのことでした。



りんどう被害現地視察(胆沢区)